

# 入社半年後の新入社員が 磨くべき力(ペーパーシップ)とは？

# 1. 本企画の問題意識（弊社がよくお聞きする新入社員の声）

弊社が多くの企業様を支援する中で、  
入社半年後の新入社員から、よくお聞きする声を記載します。

失敗が怖いから、  
言われたことだけ  
やっていたい…

毎日同じことの繰り返して  
飽きてきた…

ミスしたことを素直に  
言い出せない…

まだ自信が無いから、  
先輩に頼ってほしい…



このような後ろ向きな気持ちを持っている新入社員は多くいます。  
しかし、この気持ちが強くなるほど…

## 2. 新入社員フォロー研修の必要性

後ろ向きな気持ちが強くなるほど、  
仕事に向き合う姿勢の質は低下してしまいます。

4月入社

入社から約半年

新入社員  
フォロー研修

一旦立ち止まり、自分の仕事  
への向き合い方を振り返る

- ・失敗経験による、ミスに対するの恐怖
- ・1つ1つの業務に対する、やる気の低減
- ・「教えてもらう」ことに対する慣れ

仕事に向き合う姿勢の質の低下

約半年間での失敗経験や、会社、仕事に対する慣れによって、モチベーションが下がってしまうのは当然のことです。そのため、業務をある程度経験した入社半年後のタイミングで、一度振り返ること（新入社員フォロー研修等）が必要です。

⇒では、新入社員フォロー研修で具体的に伝えるべき内容とは？

### 3. ビジネスパースンの基礎・土台の重要性

新入社員フォロー研修で伝えるべき内容は、  
ビジネスパースンの基礎・土台を形成することの重要性です。

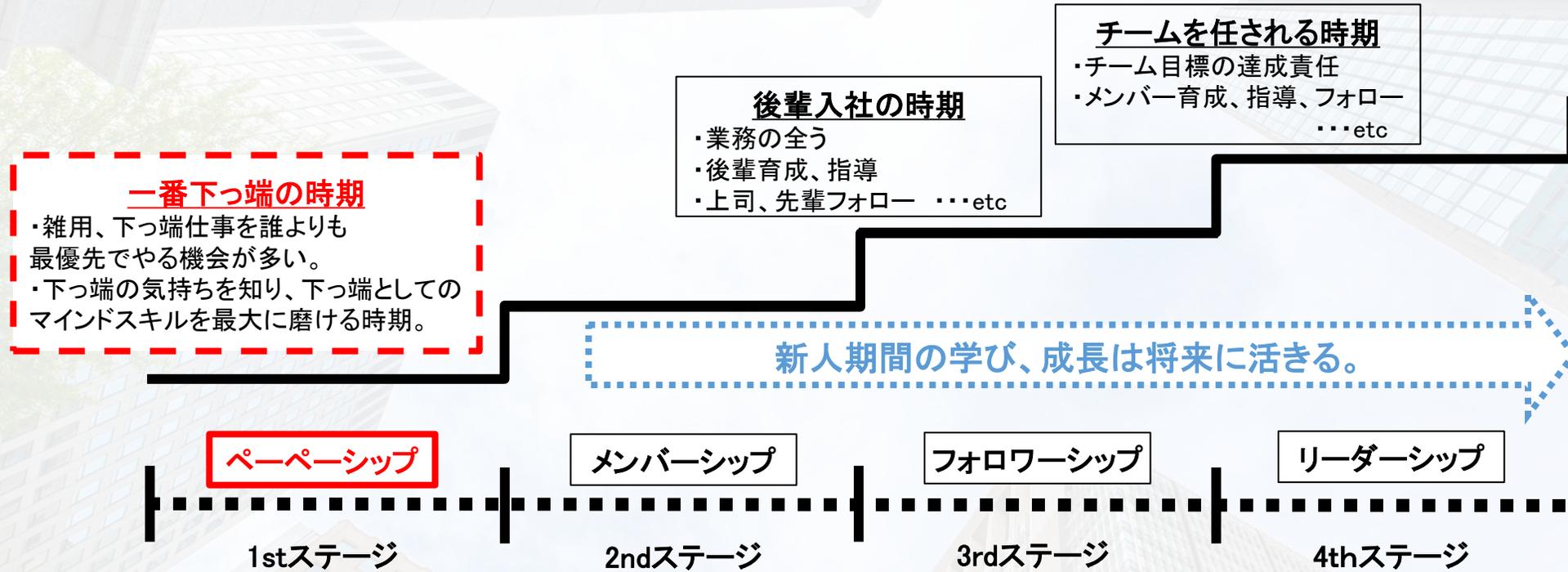


新入社員のうちに、ビジネスパースンの基礎・土台が安定していないと、その後得られるはずの新たなスキルや専門知識を、取りこぼす可能性が高くなってしまいます。

**⇒その基礎・土台を形成するために、新入社員が身に付けるべき力とは？**

## 4. ペーパーシップについて

ビジネスパーソンの基礎・土台を築くうえで、  
新入社員が身に付けるべき力（≡ペーパーシップ）について記載します。



新入社員の時期に優先的に身に付けるべき力は、“ペーパーシップ”です。この時期に、どれだけペーパーシップを身に付けられているかが、今後の活躍、成長を大きく左右します。

⇒上記をもとにプログラムを検討しております。

## 5. プログラム概要案

### 1日研修(時間は要相談)

#### ■導入

#### 1. キャリアの土台として磨くべき力

GW・講義:「1年目のキャリアとは」「仕事ができる人とは」

講義:「キャリアの土台として磨くべき力(ペーペーシップ)」

#### 2. ペーペーシップ発揮の観点

##### その1 成長を早めるための「成長サイクル」

講義:「成長サイクル」

個W・GW:「入社から現在までの振り返り」

##### その2 仕事の「基本」

講義+個W・GW:

**事前課題:「今の自分の仕事の姿勢・進め方」**

(1)仕事に対する姿勢

(2)仕事に対する進め方

①積極性・主体性 ②目的・目標意識 ③報・連・相

##### その3 新人として「人に向き合う姿勢」

講義+個W・GW:

(1)信頼貯金の獲得

(2)下っ端としての意識・行動

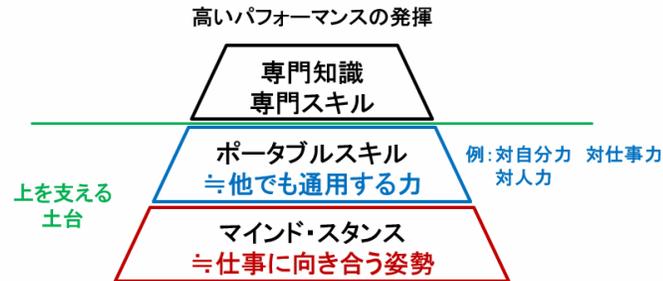
#### ■まとめ

# 6. プログラムご参考

## 1. キャリアとは? (1) “仕事で活躍している人”について



仕事を進めていくうえで、専門知識、専門スキルは重要です。



※台形の意味は、下の土台が小さければ、必然的に上も小さくなる

いわゆる“仕事で活躍している人”は、専門知識、専門スキルを下支える土台がしっかり形成されています。

## 2. ペーパーシップその2「仕事の基本」 (1) 積極性・主体性を発揮する



仕事の基本(1)は、「積極性・主体性を発揮する」ことです。

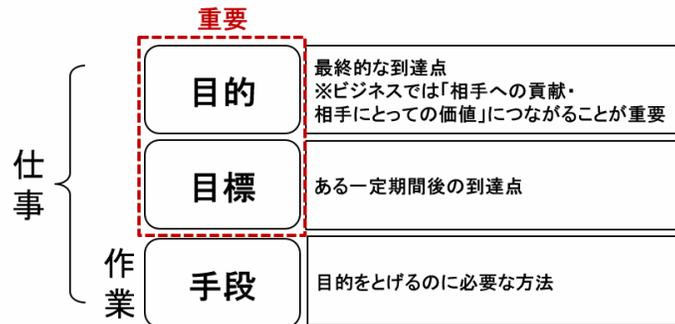


新人から、一、プレイヤーになる2年目では、皆様自身が積極性・主体性を発揮して、仕事を前に進めていくことがますます求められます。

## 2. ペーパーシップその2「仕事の基本」 (2) 目的・目標意識を持つ



仕事の基本(2)は、「目的・目標意識を持つ」ことです。

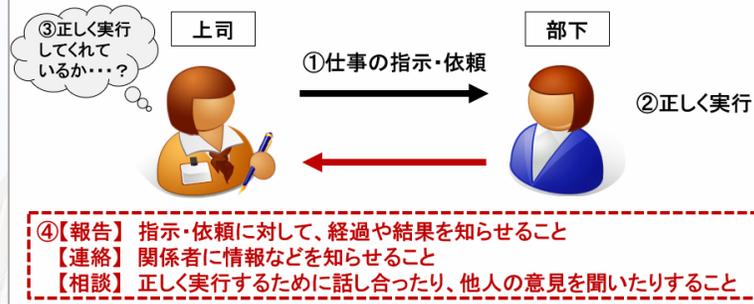


仕事をしていると、ついつい目の前のことに目が奪われ、目的・目標意識が欠落してしまうことが多々起こり得ます。

## 2. ペーパーシップその2「仕事の基本」 (3) 報・連・相を確実に実行する



仕事の基本(3)は、「報・連・相を確実に実行する」ことです。



仕事の指示・依頼を「正しく実行するため」「指示・依頼者に不安を与えないため」にも報連相は重要です。

## 7. 最後に

「社員にもっといきいきと働いてほしい」  
「真の意味で活躍する社員を増やし、定着させたい」

今の**本気**の取り組みが、未来を変える

株式会社セルフTRANSCENDENCEまで

URL： <https://www.self-t.co.jp>

※疑問・質問、またはご依頼に関しては、  
弊社から別途回答、あるいは、ディスカッションの機会を  
設けさせていただきますので、[self-t@self-t.co.jp](mailto:self-t@self-t.co.jp)に  
お問い合わせください。